

映像 **ライオンは今夜死ぬ**
名優×広島出身の監督。

広島出身の諏訪敦彦監督による8年ぶりの最新作。主演はフランス映画界「ヌーヴェルヴァーグの申し子」と名高い名優ジャン＝ピエール・レオー。演技に悩む年老いた俳優として物語に登場する。その老いた俳優に刺激を与えるのが、映画を愛する子ども達。諏訪監督が南仏でワークショップを重ね、みずみずしい躍動感を引き出した。演技と映像記録が溶け合う。

時／4月1日(日)～14日(土)
※7日(土)・8日(日)に監督舞台挨拶等有
会／横川シネマ
料／一般1,700円、大学生1,500円
シニア1,100円
高校生以下1,000円
問／横川シネマ
TEL.082-231-1001 (WEB有)



©2017 - FILM-IN-EVOLUTION - LES PRODUCTIONS BAL THAZAR - BITTERS END



「記憶に溺れる」濱元祐佳 2018

美術 **広島市立大学 芸術資料館 新収蔵作品展 2018**
学校ゆかりの作品9点を紹介。

2017年度、新たに加わった9点の作品を紹介する。9点のうち5点は卒業・修了制作の買上作品(日本画・油絵・彫刻・染織造形・漆造形)。このほか、本校名誉教授・潮隆雄氏が大学の発展をイメージして地域を表現した巨大タペストリー「展象 94A」、広島出身の山下了氏(現 東京藝術大学名誉教授)による「夏の夜の夢」など。4月12日12:30～は作品解説を実施する。

時／4月2日(月)～15日(日)
10:00～17:00 ※土・日曜は16:00まで
会／広島市立大学 芸術資料館 5F「展示室」
料／入場無料
問／広島市立大学 芸術資料館
TEL.082-830-1507 (WEB有)

美術 **ボストン美術館 パリジェンヌ展 時代を映す女性たち**
アートで迎える近代パリ。

世界が憧れた芸術の都、18～20世紀のパリを、ボストン美術館が所蔵する約120点を通じて紹介する。エドゥアール・マネの大作「街の歌い手」が修復後初公開。さらにドガ、ルノワールら印象派の巨匠が描いた女性肖像画、バレンシアガの斬新なドレス、映画女優のポートレートなど多彩。関連イベントには恒例の美術講座のほか、パリジェンヌ気分でお洒落体験会もあり。

時／4月11日(水)～6月10日(日)
9:00～17:00
※金曜は20:00まで、初日は10:00～
会／広島県立美術館
料／一般1,400円、高・大学生900円
小・中学生600円
問／広島県立美術館
TEL.082-221-6246 (WEB有)

読者プレゼント(P.15に詳細)



エドゥアール・マネ(街の歌い手)1862年頃
Bequest of Sarah Choate Sears in memory of her husband, Joshua Montgomery Sears 66.304
Photograph©Museum of Fine Arts, Boston

フィセ・ワールド・シリーズ
FISE WORLD SERIES Hiroshima 2018
日本初上陸！都市型スポーツの祭典。



世界最高峰の都市型スポーツ世界大会「FISE」。「エクストリーム・スポーツ国際フェスティバル」を意味する略語で、今回が日本で初めての開催となる。「過激な」「強烈な」の意味があるエクストリーム・スポーツに分類されるBMX、スケボー、ボルダリングなど7種の競技のトッププレイヤーが広島に集結！華麗な技で魅了する。合わせて音楽イベントや、グルメ屋台も楽しんで。

時／4月6日(金)～8日(日)
会／旧広島市民球場跡地
料／入場無料(プレミアムゾーン、音楽ステージは有料)
問／一般社団法人
日本アーバンスポーツ支援協議会
TEL.03-5459-2905
(WEB有)

たれゆえそう
展示 各種 **第1回 誰故草まつり**
展示にコンサート、郷土史に関する講演会も。

鎌倉時代の歌人・藤原為兼が船越に滞在した折に発見し、名付けの由来となったと伝えられる誰故草。この言い伝えを船越の活性化に繋げようと生まれたイベント。期間中は、地元の人々による文化発表会を多彩に開催。4月15日(日)には海田公民館ほかと連携し、歴史小説家・穂高健一氏を招いて講演会も開く。題目は「知られざる幕末の芸州広島藩・神機隊の活躍」。



たれゆえ草

【誰故草まつり】
時／4月7日(土)～28日(土)
会／船越公民館
料／入場無料

問／船越公民館 TEL.082-823-4261

【穂高健一氏講演会】
時／4月15日(日)
13:30～15:30頃
【地域交流コンサート】
時／4月28日(土)
14:00～
会／いずれも船越公民館
料／いずれも入場無料



穂高健一